

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 社会情勢の変化に対応した理念・目的の再検証、公表	→理念・目的を再検証する委員会常設の有無	
2. これからの中長期的な社会で求められる専門教育の理念・目的を設定／明確化とその公表	→ホームページ、広報誌、入試要項による公表の有無	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	
	→	

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目0.0.1	(理念・目的) 社会学研究科は、博士課程前期・後期課程を設け、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元し、社会貢献できる高度専門職業人の養成にも力を注いできた。近年、人びとの生活に関わる問題は、いよいよ複雑化、深刻化する傾向にあることから、高度な専門職業人の養成は素より、専門性を支える研究の高度化、力量のある研究者の養成という社会的ニーズに応えるべく、より一層の充実をはかっていく。 「ソーシャルリサーチ」「ソシオリテラシー」をキーコンセプトに据え、理論的・実証的な研究を現実課題の解決に応用できる能力の涵養を目指している。前期課程では社会調査の専門家を求める産業界のニーズに応える「専門社会調査士コース」も設置し、社会学の基礎力涵養に力を入れている。また後期課程では「先端社会研究所」とも連携し、世界をリードする独創的研究を担う若手研究者育成を目指している。
	(現状説明) アドミッション・ポリシー設定の際に大学院連絡会、大学院研究科委員会において理念や目的について、再検討、議論した。
★ 小項目0.0.2	(現状説明) 「関西学院大学大学院案内」冊子に理念・目標を盛り込み、公表した。
★ 小項目0.0.3	(現状説明) 大学院諸問題検討委員会において検証を行った。
★ その他	

## ◎効果が上がっている事項

### 【点検・評価】(1)効果が上がっている事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	★ 大学院進学についての問い合わせ、相談が増加した。
小項目0.0.3	
その他	



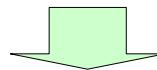
### 【次年度に向けた方策】(1)伸長させるための方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	★ 大学院説明会において「関西学院大学大学院案内」を配布し、理念・目的の浸透に努める。
小項目0.0.3	
その他	

## ◎改善すべき事項

### 【点検・評価】(2)改善すべき事項

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
小項目0.0.3	
その他	



### 【次年度に向けた方策】(2)改善方策

小項目0.0.1	
小項目0.0.2	
小項目0.0.3	
その他	

## ◎自由記述

### 【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

## III. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

### 【学外委員】

- 研究科の理念・目的が生かされた人材養成が期待されます。

### 【学外委員】

- 大学院研究科委員会などで、理念・目的について議論していることは評価できます。
- 社会学研究科の理念・目的を再検証する委員会が常設され、理念・目的が公表されている点は評価できます。また、大学院諸問題検討委員会でその内容についての検証が行われている点も大いに評価できます。今後も、適宜内容の検討・改善が行われることが期待されます。
- 小項目0.0.3の現状説明において、検証は何回行い、どういう結果であったかの記述が望されます。

## IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

## V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

0.0.0.S1	本学の育成した人材(卒業生)に対する社会(企業)の評価
0.0.0.S2	卒業生がどの程度スクールモットー(マスター・フォア・サービス)をどの意識しているか
0.0.0.S3	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率
0.0.0.S4	卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率
0.0.0.S5	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率
0.0.0.S6	本学出身でキリスト教関連活動に従事する者(牧師を含む)の数
0.0.0.S7	理念の周知について(1)－理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数
0.0.0.S8	理念の周知について(2)－総合コース「『関学』学」の履修者数

<個別的な指標>
